［様式２］

杉並区立杉並和泉学園

令和５年度　バスケットボール部の活動方針・活動計画

令和５年４月１日

## １　指導体制

| 顧問教諭等氏名 | |
|---|---|
| 顧問 | 坂野　春美　　教諭 |
| 顧問 | 豊田　晃弘　　主任教諭 |
| 顧問 | |

| 外部指導者氏名 | 資格等や経験 | 頻度 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |

## ２　部員数　７年生１１名　８年生４名　９年生４名　合計１９名

（令和４年４月末現在）

| | 男 | 女 | 合計 |
|---|---|---|---|
| ７年 | ５ | ６ | １１ |
| ８年 | １ | ４ | ５ |
| ９年 | ２ | １ | ３ |
| 合計 | ８ | １１ | １９ |

## ３　年間目標

（１）学校の教育目標を受けた生徒像

〇チームの一員であるという意識のもと、どのような状況でも前向きにチャレンジし続け、「３Ｃ」Create・Communicate・Challenge の精神を高める。

〇互いを認め、互いに励まし競い合うことを学び、バスケットボールを通して、仲間と共に活動する社会性を身につける。

## ４　活動方針

（１）生徒の自主性・自発性を大切にした活動を行う。

（２）生徒間の暴力、教員の体罰等のないようにし、部員が毎日の部活動を待ち望む活動を行う。

（３）各教科等への学習意欲や責任感、連帯感の涵養等を目指した活動を行う。

（４）運動部活動において、生涯に渡り、心身の健康を保持・増進し、明るく豊かなスポーツライフを実現しようとする態度等を育む。

## ５　指導内容・方法

（１）体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（ＤＶＤ）を活用して、顧問、外部指導者、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

（２）事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

感染症予防対策として、用具使用前後の手洗い・消毒の徹底と三密を避けた環境をつくる。

## ６　活動計画

（1）活動日：火・木・金
　　※大会に参加することになった場合、不定期で土曜日・日曜日もあり。

（2）活動時間：　平日　１６：００～１８：００（2時間）

（3）休養日：月曜日・水曜日・土曜日・日曜日
　　（ただし、大会がある場合にはこの限りではない。）

（4）年間活動予定　※下記は令和３年度の予定です。

| 学　期 | 月 | 内　　容 |
|---|---|---|
| １学期 | 4 | 通常練習 |
| | 5 | 新体制づくり<br>杉並区夏季選手権大会 |
| | 6 | ユニフォーム作成 |
| | 7 | ユニフォーム回収・ゼッケン張り替え<br>ユニフォーム配布 |
| | 8 | 夏季休業中　基礎体力練習 |
| ２学期 | 9 | 杉並区研修大会 |
| | 10 | 杉並区新人大会 |
| | 11 | |
| | 12 | 冬季休業中　練習及び練習試合 |
| ３学期 | 1 | |
| | 2 | |
| | 3 | 春季休業中　練習及び練習試合 |

※昨年度は定員に達していなかったため、大会・練習試合には参加せず、定期的に合同練習を行っていました。